

とろんの (太一や) 通信

## — 転の章 —



とろん

ひかりのもちよりギャザリング  
「月の村」まつり

あけましておめでとう！2021年！！  
また一つ年を重ね、1月26日、ボクは70  
になってしまふ。20数年前、まだ10代の  
大学時代にボクと遭遇し、今、(世界の踊絵  
師)として国内外で大活躍中の天才アーティ  
スト(神田さおり)が、連載していたボクの  
次のような文章を読んで、「うん！強く共  
感！！」と感応してきた。

「何が起ころうとただひたすら、自分の置  
かれた(今ここ)の状況の中で、自分のイノ  
チの身も心も(元気)にしてゆこうと試みる  
一日一日の風景こそが、他のイノチを鼓舞し  
(元気)にしてゆき、そして社会や自然も(元  
気)になってゆくという(イノチの連鎖反応)  
あるいは(元気力感染)が膨らみ起きてゆく  
のだろう」

昨年のコロナさまの出現によって、まさ  
に、人それぞれの人生の「転の章」を迎えた  
ことと想うし、ボクもその例外ではなかつた。  
コロナさまの御蔭さまで、ボクらのお店  
(太一や)も8月、一カ月のお休みができ、な  
ぜだか、国や県や市からの助成金を受けた

り、そしてなによりも、  
一カ月のお休みの後、  
(太一や)営業日が週四  
日から週三日(金、土、  
日)＋祝祭日に短縮し  
たのが大きな変化で、  
うれしい!!! ボくら  
のライフスタイルの  
「転の章」を迎えたの  
だから。

そしてそんな中、今  
年の4月から一年間、  
国と市からの新たな  
助成金を受けよう!!!  
と、現在申請手続  
き中で、その手続  
きの中で「月の村の会」と  
いう名の団体を立ち  
上げるハメになって  
しまった。まさに、良  
性(公私混同)で、20  
21年4月～2022年3  
月までの活動への助  
成金といえば、2022  
年2月22日から始  
まる22日間の祭り  
(たましいのかくじっ  
けん)第四弾に向かう  
日々&

本番と、ピッタリと重なるのだ!!!

だから、今回の文章「転の章」は(たま  
しいのかくじっけん)第四弾の告知&誘惑  
ではあるけれども、行政用には、「月の村  
まつり」という名で告知し、この誰もが  
安心する健康的な「月の村まつり」とい  
う名で、行政や地元の人たちをも巻き込  
んでゆこうとしている。

まさに「コロナ」(太陽)さまの出現の御  
蔭さまで、「月の村まつり」という名が産  
れ、名前はどうかあれ、この22日間の祭  
りが、太陽と月の光渦巻くイノチ命いの  
ちの絶大なバランス風景となれば、もう、  
サイコーMAXシアワセありがとう♪

Depend on

Sound of SPACE!

Spring of your SOUL!!

Something of your own SPECIAL !!!

これは、2012年12月から108日間の  
祭り(たましいのかくじっけん)第二弾@  
PAI(タイ北部山中の桃源郷)のチラシ  
(愛妻はるか作)のなかのキャッチフレーズだ。

そしてこの韻を踏んだ力強くって美しいフ  
レーズは、今回の第四弾をも貫くものだ。

とにもかくも、2022年2月22日、祭  
りの初日、本番に向けて、今、見捨てられ  
た原野を切り開きながら、助成金の手続き  
に四苦八苦しながら、発信作業などに余  
念がないのだけど、そんな阿呆のように勝  
手なボクのイノチの渦に巻き込まれた人  
たちが、「巻き込まれたら巻き返せ!!!」と  
イノチの源に目覚めるとき、このなにも  
ない(月の村)にアタラシイ風と光が巻  
き起きてくるのだろう。

本番まであと一年とちょっと。だけ  
ど、もう、原野の矢竹を切り開きなが  
ら、すでに祭りは日常的に始まっている  
のだ。とにもかくも、太一や&月の村に  
遊びに来たアナタ！縁あるアナタ！！  
風景感応し、心疼くものがあるれば、  
アナタの風と光を、本番へ向けて巻き  
起こしてみてくださいね。そして、日常  
にいつでも戻れる(SPACE),第二の  
アナタの故郷を産み出してみてください  
ね。

本番の何年も前から始まり、祭りのあ  
ともずっと、ジャンルやボーダーを超え  
たアナタの日常へと連鎖してゆく、(日  
常がお祭り)世界。

2007年7月7日七夕から七週間の祭  
り(たましいのかくじっけん)第一弾の  
オープニングの日、日本から駆け付けて  
くれた天才アーティスト(踊絵師)神田さ  
おりは、オープニングの奉納演奏の中  
で、巨大なライブペインティングを演  
出してくれた。

そして今、世界的アーティストへと変  
貌してゆく中、彼女からの熱い想いの  
一コマが届けられた。

「出会いによって魂は現在進行形で磨  
かれ続ける。出会いを通して常に己を知  
る。今この瞬間の魂の声に素直になっ  
て、それを喜びに満たしてあげるのが一  
番大切で。これまでは自分の光ってなん  
だってことを一生懸命模索してきたけど  
、今は自分の光はちゃんと在る、そこを  
信じられるようになった。そして光を  
繋げて響かせあえる人と、その輪を広  
げていきたいなあって。その美しさを一  
緒にうっとり分かち合いたいなあって。  
そうやって生きて生きたい。今は本当そ  
こに集中している。光の持ち寄りがPARTY  
だとして。」

(神田さおり インタビューより)

果たして、世界の(神田さおり)が「月  
の村まつり」にやってくるのか???

オタノシミ風景!!!

70歳直前エクスタシー!!! とろんより。

※その後の、神田さおりさんが来る事が決定したそうです。